

ご支援いただいている皆様へ

認定 NPO 法人 環境リレーションズ研究所
理事長 鈴木 敦子

2020年3月期活動報告に代えて

認定 NPO 法人環境リレーションズ研究所は 17 期目の決算を完了し、核となる活動「プレゼントツリー (PresentTree)」は 2005 年 1 月に始動してから、15 周年を迎えることができました。ひとえに、皆様方のご尽力の賜物と有難く厚く御礼申し上げます。

企業の寿命は 30 年といわれる中、折り返し地点に立った矢先、新型コロナウイルスによるパンデミックに襲われ、世の中の動きが一斉に止まりました。毎年春には、多くの里親の皆様を各地のプレゼントツリーの森に御案内していますが、新緑が最高に美しいこの時期に森に行けなかったのは、やるせない思いでいっぱいです。一方で、森林はソーシャルディスタンスを確保しやすい開けた空間として、改めて注目が集まっております。

新型コロナは私たちに、人と人との繋がり、人と自然や生態系との距離感、人間活動と地球とのバランスについて見直す機会を突きつけていますが、それらが一遍に腑に落ちる絶好のフィールドがプレゼントツリーの森なのではないか？と感じつつあり、30 年後に残るためのヒントがあるような気がいたします。

プレゼントツリーは、

1. 中々動かない圧倒的多数をエコアクションに引っ張り込むプラットフォーム
2. 成熟社会における地方創生の在り方

の 2 点を目論み、他のどの国よりも急速に少子高齢化が進み、どの国よりも個人の現預金比率が高い日本が、世界のモデルとなるべく「活力ある未来社会」を実現するために、如何に「人とお金を偏在させずに循環させていくか？」の一つの社会実験として進めてまいりました。

認定 NPO 法人環境リレーションズ研究所で、この社会実験を担いムーブメントの素地を創り、上手くいったスキームを企業や団体の皆様の本業の中で活用頂くことを株式会社環境ビジネスエージェンシーでお手伝いしつつ、持続可能な環境施策を生み出し続けること、それが、私共のミッションです。

「人生の記念日に樹を植えよう！」と呼びかけ、都市部の人達に各地に植えた記念樹の里親となって頂き、当地との 10 年間の交流を育みながら森だけではなく地域丸ごと元気にしていく、という仕組みはスタート来順調に広がり続け、プレゼントツリーとしての約束期間 10 年を満了するエリアが続々と出てきております。その間、度重なる巨大台風や豪雨にも、プレゼントツリーの森、即ち「天然林に近い形」はとても強いことが証明されつつあり、気候変動リスクが一層高まる今後は益々、その存在意義を発揮しなければ！と気合いも入る近頃です。

引き続き「国づくり」の精神でプレゼントツリーを推し進めますので、ご協力をお願い申し上げます。

また、プレゼントツリーの森づくりで見えてきた、新たな課題を解決するための事業「アーバン・シードバンク (URBAN SEED BANK)」プロジェクトは、千代田区暑熱対策事業の中で「ミスト付き里山ベンチ」として採用されました。その他、環境月間やアースデイなどのタイミングで、都市に居ながら取り組める森林保全、体感できる SDG s 教育として、「里山 BONSAI ワークショップ」を採用頂く機会が増えております。

全国各地の放置荒廃里山を再生するため、真っ暗な里山に未利用資源として眠り続けている休眠埋土種子 (シードバンク) から苗を育て、都市の緑化に使うことで、都市の生物多様性を向上させ、里山に人と資金を流し、かつ、障がい者の方々との協働を実現する仕組みである「アーバン・シードバンク」と「プレゼントツリー」双方のプロジェクトの実践により、SDG s 17 のゴールの内 8 つの取組に繋がります。併せてこれからの日本の発展のためのソリューションとして機能させて参りますので、皆様からの変わらぬご厚誼をお願い申し上げます。

以下、活動報告に代えて決算のポイントを申し添えます。(別添：認定 NPO 法人環境リレーションズ研究所 財務諸表経年比較【2006年3月期～2020年3月期】 参照)

1. 経常収入について

1) 経常収入の内訳については次の通りで、安定的に皆様からのご寄附・補助金等により支えられており、謹んで深謝申し上げます。

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
会費入会金収入	0.11%	0.14%	0.24%	0.04%	0.26%	0.08%
寄附金収入	84.02%	74.54%	72.49%	79.09%	78.66%	73.01%
補助金等収入	6.81%	7.71%	12.85%	10.81%	8.16%	15.86%
事業収入	9.04%	17.60%	14.37%	10.06%	12.91%	10.59%
受取利息（その他収益）	0.00%	0.01%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
雑収入（その他収益）	0.02%	0.01%	0.04%	0.00%	0.01%	0.46%
計	100%	100%	100%	100%	100%	100%

2) 10年間の事業期間に係る費用が一時期に偏ることを避ける目的で計上していた仕掛事業費が、NPO法人会計基準に馴染まないと判断された為、2016年度に会計方針を変更、仕掛かり事業費の全額取り崩しにより見かけ上の経費が一気に増えました。2017年度と2018年度については、度重なる自然災害による想定外の補植が重なったこと、プレゼントツリーの特徴である1本毎管理のためのプレート再装着費用等補助金対象外支出が高かったこと等により、実質的な経常減額となりました。当期からは、余計なコストの削減と散乱ごみ対策の観点から、毎木管理の方法を変更しております。前期に新規植栽地がスタートしたこと、新たなネット募金の入り口を設けたこと、従来からの支援企業による視察ツアーが増えたこと等により、当期は寄附金、補助金、事業収入全般が堅調に伸び、経常収入合計は、目標である3.11前の水準には及びませんでした。前期比+23%の大幅な増収となりました。

2. 新年度の方針

1) 長年に亘り北海道大学・雨龍研究林での苗木不足が課題でしたが、新年度は新たに天塩研究林との協定がスタートいたしました。また、近年の台風や地震の被災地からはプレゼントツリー誘致の話が寄せられており、新年度には3箇所の新規植栽地をスタートさせる予定です。

2) "アーバン・シードバンク" プロジェクトは、外出自粛が続く中、在宅でのSDGs教育の一環として、オンライン・里山BONSAIワークショップの為にインフラを整えましたので、自宅に居ながらにして森を感じられる学習ツールとして、新年度の普及を目指します。

3) 順次、協定期間満了を迎えるエリアが増えており、その後の維持存続の在り方については各地施業機関を介して地元の意向を確認しておりますが、プレゼントツリーの協定期間は10年と、非常に長期に亘るため、当事者が交替しているケースが多く確認には相当の手間と時間が掛かっております。新年度はその仕組みの再構築を行う予定です。

当所はこれからも、持続可能な社会の仕組みづくりに邁進いたしますので、引き続きよろしくご支援賜りますようお願い申し上げます。

お問い合わせ先*****

認定 NPO 法人環境リレーションズ研究所

法人運営事務局長 前野郁子

e-mail : imaeno@ebagency.jp

東京都千代田区神田小川町 2-3-12 神田小川町ビル 8階

TEL.03-5283-8143 Fax.03-3296-8656

令和元年度特定非営利活動に係る活動計算書

NPO法人環境リレーションズ研究所

自 2019年 4月 1日 至 2020年 3月31日

(単位:円)

科 目	金額	備考
I 経常収益		
1. 受取会費		
会費入会金収入	50,000	
2. 受取寄付金		
寄付金収入	44,298,909	
3. 受取助成金等		
補助金等収入	9,622,570	
4. 事業収益		
PresentTree事業収入	5,070,815	
その他収入	1,354,120	
5. その他収益		
受取利息	46	
雑収入(その他収益)	223,060	
雑収入(還付等)	53,494	
経常収益計	60,673,014	
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
人件費	60,000	
人件費計	60,000	
(2) その他経費		
仕入	278,945	
荷造運賃発送費	431,171	
サンプル費	24,745	
リース料	86,400	
交際費	73,067	
会議費	71,084	
旅費交通費	1,496,348	
通信費	80,898	
広告宣伝費	0	
販売手数料	0	
販売促進費	0	
消耗品費	476,827	
車両費	36,946	
雑費	102,395	
外注費	17,658,801	
業務委託費	14,033,080	
寄付金	2,798,250	
支払手数料	291,913	
諸会費	0	
賃借料	110,000	
少額交際費	0	
租税公課	0	
保険料	38,831	
支払報酬	0	
他勘定振替	▲24,745	
その他経費計	38,064,956	
事業費計	38,124,956	
2. 管理費		
(1) 人件費		
給料手当		
雑給		
法定福利費	12,909	
福利厚生費		
人件費計	12,909	
(2) その他経費		
外注費	11,161,960	
荷造運賃発送費		
広告宣伝費		
交際費	35,000	
会議費	6,400	
旅費交通費	28,652	
通勤費	0	
通信費	7,062	
消耗品費	60,811	
事務用品費		
新聞図書費		
諸会費	2,654	
支払手数料	53,389	
車両費		
リース料		
保険料	39,430	
支払報酬	558,744	
寄付金	1,330,500	
減価償却費		
賃借料		
租税公課	265,805	
研修費		
法人税等	70,000	
その他経費計	13,620,407	
管理費計	13,633,316	
経常費用計	51,758,272	
当期経常増減額	8,914,742	
III 経常外収益		
経常外収益計	0	
IV 経常外費用		
1. 過年度損益修正損	16,200	
経常外費用計	16,200	
当期正味財産増減額	8,898,542	
前期繰越正味財産額	3,855,079	
次期繰越正味財産額	12,753,621	

貸借対照表

NPO法人環境リレーションズ研究所

2020年 3月31日現在

(単位:円)

I 資産の部		II 負債の部	
1. 流動資産	15,359,513	1. 流動負債	10,057,912
現金・預金	14,544,008	未払金	5,800,660
未収金	360,905	未払法人税等	70,000
商品	454,600	未払消費税等	187,200
立替金	0	預り金	52
		短期借入金	4,000,000
2. 固定資産	7,452,020	2. 固定負債	0
(1)有形固定資産	7,452,020		
土地	7,452,020	負債合計	10,057,912
(2)無形固定資産	0	III 正味財産の部	
工業所有権	0	前期繰越正味財産	3,855,079
ソフトウェア	0	当期正味財産増加(減少)額	8,898,542
(3)投資その他の資産	0		
		正味財産合計	12,753,621
資産合計	22,811,533	負債及び正味財産合計	22,811,533

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2011年11月20日 NPO法人会計基準協議会)によっています。同基準では、特定非営利活動促進法第28条第1項の収支計算書を活動計算書と呼んでいます。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法を採用しております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

固定資産は、法人税法の規定に基づいて旧定額法又は定額法で償却をしています。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込経理方式によっています。

2. 事業別損益の状況

別紙のとおり

3. その他

(1)事業収益の「その他収入」は、他の団体の植樹事業を受託したものです。

以上

[Present Tree] 2019年度 活動ハイライト

@Present Tree in 笛吹みさか



11日(土)
第3回植樹イベントを開催。
市内外から107名が参加。



12日(日) Present Tree x Realの森 for Wrangler
FCAジャパン様ラングラーオーナー様を集い総勢150名で植樹イベントを開催



16日(木) そごう・西武労働組合
そごう・西武労働組合の皆様が植樹10周年イベントを開催

@Present Tree in みやぎ大崎



16日(日) 第6回「PT in みやぎ大崎」植樹イベント大崎市「市民の森づくり」共同開催
総勢165名参加、1000本の苗木を植樹。

@Present Tree in ひろの



3日(日) 日清製粉グループ本社様、福島県広野町ボランティアバスターを開催



30日(土) 東京都シンポジウム「100年後の東京の森林・林業を考える」へ弊社団体理事長がパネリストとして参加

マルシェ出展



9日(日) 東京都勝どき太陽のマルシェに出展



16日(土) - 17日(日) 横浜市横浜北仲マルシェに出店
太陽のマルシェ出展

GEOC@表参道



14日(土) 「マーケットを通じて届ける里山の緑」にてトークセッション+ワークショップを開催

12月

12月

11月

10月

10月

9月

8月

11月

6月

7月

6月

5月

5月

4月

4月

Earth Day Tokyo 2019 @代々木公園



20日(土)・21日(日)
FCAジャパン様ブース内にて出展

@Present Tree in みやぎ大崎



20日(土) - 21日(日)
Scan for Trees x Present Tree Sansan様が植樹イベントを開催

3月~5月 ヤフー3.11ネット募金



森林再生と地域振興
環境リレーションズ研究所
くじ付き募金

被災地支援の新しい寄付受け入れの取り組みとして、「ヤフー3.11応援企画」ネット募金の支援先団体として採択され、4,530人からの寄附が集まった。

@Present Tree in 中川



3日(木) アコーホテル様 第一回植樹イベント開催

@Present Tree in 甲斐



5日(土) 「三機の森」第4回下草刈りイベント

@Present Tree in みやぎ大崎



18日(金) AMPキャピタルインベスターズ様、植樹イベント開催



26日(土) - 27日(日)
Scan for Trees x Present Tree Sansan様が植樹イベントを開催

2019年度も、都市部と地域の交流人口を増大させる機会を積極的に創出してきた。地域における交流イベントは10回実施し、のべ約520名の参加者を得た。うち企業単体による開催は8回で、継続して開催する企業が定着してきた。年を経る毎に、地域協働者との関係がより密になっていることを実感しているが、その成果としてのサービス提供が、多くの企業から評価される要因となっている。継続して定期支援をいただける企業の数は、次年度もほぼ現状維持。